

【参考資料】 平成21年度 実績報告(中津川市森林組合)

作成日:平成22年4月30日

施業集約化	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	80ha	50ha	62.5%	H22予定:120ha	人工林:施業同意レベル 天然林:長期受委託レベル
いつ	7月~3月	7月~3月	/	春~夏は地区の会合で説明を行う。その後、個別訪問を通年で行う。 施業集約化担当:良雪憲雄 春~夏にかけて地区の会合に出向きプロジェクトの説明を行う。その後、個別訪問を通年で行う。	
誰が	施業集約化担当: 良雪憲雄	施業集約化担当: 良雪憲雄			
どういつ方法で	地区の会合	広報誌への掲載 地区説明会 個別訪問			

切捨間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	15ha	1.53ha	10.2%	H22予定:30ha	境界の明確化と利用間伐を優先させたため切捨て間伐を一時停止した。
いつ	4月~3月	4月~3月	/	年間を通じて切捨間伐を行う。 中津川市森林組合 利用間伐地に隣接した若齢林の保育間伐を積極的に行う。	
誰が	森林整備担当	良雪憲雄			
どういつ方法で	既設林道等へ搬出できない箇所を切捨間伐	既設林道等へ搬出できない箇所を切捨間伐			

利用間伐	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	21ha	9.4	44.8%	H22予定:46ha	
いつ	4月~3月	4月~3月	/	梅雨、降雪期間を含めてできる限り年間を通じて素材生産を行う。 中津川市森林組合 林産班(篠原) 新規開設した作業道を積極的に活用して利用間伐を行う。	
誰が	林産班(篠原)	林産班(篠原)			
どういつ方法で	作業道を新設・利用間伐	既設市道等へ搬出できる箇所は利用間伐			

作業道開設	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
数量	W=3.6m、L=2,450m	W=3.6m、L=2,023m	82.6%	H22予定:1,480m	開設コスト:7,752円/m
	W=3.0m、L=1,260m	W=3.0m、L=1,897m	150.6%	H22予定:1,538m	" :1,436円/m
	計 L=3,710m	計 L=3,920m	105.7%		
いつ	4月~3月	4月~3月	/	梅雨、降雪期間を除き、できる限り年間を通じて開設を行う。 中津川市森林組合 W=3.6mの幹線は建設業者に作業委託 W=3.0mの支線は森林技術者	
誰が	良雪憲雄	良雪憲雄			
どういつ方法で	設計:県森連 施工:建設業者 管理:森林組合	設計:県森連 施工:建設業者 管理:森林組合			

素材生産		新規チーム設立(H21)		内容	
新規構築作業システム(機械の組合せ、種類・規格・台数)				伐倒:チェンソー → 集材:グラップル(0.45) → 造材:プロセッサ → 運搬:フォワーダ(3.5t) → 積込:グラップル(0.45) → 運搬:トラック(8t)	
素材生産チームの人員数(人)		実施前 → 実施後 (H20) (H21)		(チーム無し)	1チーム(3人/班)
実稼働日数(日)					53日
素材生産性(m³/人・日)					3.49m³/人・日
素材生産費(円/m³)		H21計画(実績)			13,800(13,775)円/m³
年間素材生産量	計画	実績	達成率	今後の対応	備考
モデル団地内	1,260m³	1,017m³	80.7%	H22予定:2,760m³	生産性は組合林産班の団地内実績。 生産量は、外注、支障木含む。
モデル団地外	220m³	377m³	171.4%		
合計	1,480m³	1,394m³	94.2%		

上記のほか、プロジェクト推進のために講じる具体的取り組み			
計画	実績	達成度検証方法	今後の対応
地域住民を対象としたモデル団地全体の事業進捗状況について、地区の会合等において定期的(年2回)に説明会を行い、意見等を全体計画に反映していく。	2地区の常会(地区の会合)で各3回、1地区の常会で1回、計7回の説明を実施し、所有者以外を含め、趣旨を周知することができた。	説明会開催の回数	H22年度もH21年度と同じ3地区で説明会を実施する。回数は1回以上とし、必要に応じて複数回とする。
森林所有者への普及啓発。プロジェクトの進捗状況を地区座談会及び機関誌「森林組合だより」(年1回発行)により報告するとともに、組合員を対象とした木材搬出現場の見学会を行い、普及啓発する。	「森林組合だより」(H21.10発行機関誌)に掲載したところ、森林整備に関する問い合わせがあった。(4,700部発行)	機関誌1回当たりの発行部数×発行回数	機関誌への掲載は引き続き実施していく。
地元小中学生を対象とした現地見学会の開催。	H21未実施	現地見学会の参加者人数	福岡地内各小中学校へ6月中に説明し、視察の検討をお願いする。
作業道開設に伴う河川水濁度調査の実施。	平成21年9月17日から11月17日まで計6回(5箇所)河川水を採取。森林研究所にて濁度分析。	定点観測の箇所数×採取期間(回数)	採取地①、②番はH22年度に素材生産を実施するため引き続き調査を実施する。③～⑤番は採取場所を③番と⑤番の2箇所とし、H22年度内(降雪前)まで実施。
組合職員及び森林技術者の知識・技術の向上のための研修会の開催	計画11項目に対し9項目を実施【研修成果は別紙①】	研修会の開催回数	目標が達成できなかったものについては引き続き実施。未実施の研修はH22年度に計画する。
職員会議を週1回開催し、森プロの進捗状況等の情報を職員が共有する。	平成21年10月13日から平成22年3月30日まで計23回実施。情報共有を図るには有効であったが、組合全体の課題に対する対策方針を検討する場には至らなかった。	議題数	課題検討の場となるよう事業計画に対してアウトプットの指標で進捗管理を行っていく。
森プロチームの会議を月1回開催する。	平成21年9月24日から平成22年2月25日まで計6回実施。進捗状況の確認と課題を検討することが出来た。【工程管理結果は別紙②】	発生した課題数と解決数	継続実施する。